

もも・ネクタリン特報

【定期散布】

- ・隣接する園地や収穫中の作物に飛散しないよう十分注意する。
- ・ももとネクタリンの混植園は、ネクタリンの防除を実施する。

もも

散布時期：前回散布から15日後（8月3日～9日頃）

＊中生種（なつっこ等）で除袋間近な場合は、除袋後に散布を実施する。

散布薬剤：	水	100ℓ	
	展着剤	20ml	
	ベルコートフロアブル	50ml	（前日、3回）
	アーデントフロアブル	50ml	（前日、3回）

散布日	8月	日
散布量		ℓ

対象病害虫：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、カメムシ類、（モモハモグリガ）、（アザミウマ類）

10a 当り散布量：600ℓ

- 【注意事項】
- ① ハダニ類の発生が心配される場合は、スターマイトフロアブルの2,000倍（前日、1回）を加用する。
 - ② ミカンキイロアザミウマ（スリップス）対策として、下草刈りを行ない発生の抑制に努める。
 - ③ モモハモグリガの発生園は、ノーモルト乳剤の2,000倍（前日、2回）を加用する。

ネクタリン

散布時期：前回散布から15日後（8月3日～9日頃）

散布薬剤：	水	100ℓ	
	展着剤	20ml	
	ベルコートフロアブル	50ml	（前日、2回）
	アーデントフロアブル	50ml	（前日、3回）

散布日	8月	日
散布量		ℓ

対象病害虫：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、カメムシ類、（モモハモグリガ）、（アザミウマ類）

10a 当り散布量：600ℓ

- 【注意事項】
- ① ハダニ類の発生が心配される場合は、スターマイトフロアブルの2,000倍（前日、1回）を加用する。
 - ② モモハモグリガの発生園は、ノーモルト乳剤の2,000倍（前日、2回）を加用する。

次頁には、管理情報、腐敗病防除対策が掲載されております。

熟度優先の収穫を心掛けましょう。

また、成熟は昨年より 10 日程度遅れると予想されます。除袋・反射マルチ・葉摘み等の
管理作業は、早めに進めましょう。

1. H29 収穫開始予想 (7/24 現在)

直前の気象条件により前後します。下表を参考に、果実の状況を見て収穫期を判断しましょう

品種名	南部地区	平岡地区
山根白桃	8 / 1 4 ~	8 / 1 6 ~
なつっこ	8 / 1 2 ~	8 / 1 4 ~
晶光(ネクタリン)	8 / 3 ~	8 / 6 ~
川中島白桃	8 / 2 3 ~	8 / 2 5 ~
黄金桃	8 / 2 5 ~	8 / 2 7 ~

2. 除袋目安

*あくまで目安ですので、園地状況を確認し、試し除袋してから作業に入りましょう。

品種	除袋 目安
なつっこ	収穫 8~10 日前までに
山根白桃、白桃系	収穫 12~14 日前までに
川中島白桃、黄金桃	収穫 8~10 日前までに

3. 果実腐敗防止対策 降雨が続く場合、系統の違う剤を輪番で使用する。(下表)

灰星病の耐性菌出現を回避するため同一系統の薬剤を連用せず、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

	薬剤の系統	薬剤名	使用濃度	適正使用基準	使用上の注意事項
もも	エルゴステロール 生合成阻害剤 (E B I)	スコア顆粒水和剤 アンビルフロアブル オーシャインフロアブル オンリーワンフロアブル	2000倍 1000倍 2000倍 2000倍	収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回)	1. ベルクートは、バラ・メロンに葉害を生じるのでかからないようにする。 2. ダコニール 1000、ダコレート水和剤は、除袋直後に散布すると葉害が発生する場合がありますので注意する。
	そ の 他	ロブラール水和剤 ベルクートフロアブル ダコニール 1 0 0 0	1500倍 2000倍 1000倍	収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (6回)	
ネクタリン	エルゴステロール 生合成阻害剤 (E B I)	スコア顆粒水和剤 アンビルフロアブル オーシャインフロアブル オンリーワンフロアブル	2000倍 1000倍 2000倍 2000倍	収穫前日まで (2回) 収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回)	1. ベルクートは、バラ・メロンに葉害を生じるのでかからないようにする。 2. ダコニール 1000、ダコレート水和剤は、除袋直後に散布すると葉害が発生する場合がありますので注意する。
	そ の 他	ロブラール水和剤 ベルクートフロアブル ダコニール 1 0 0 0	1500倍 2000倍 1000倍	収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (2回) 収穫前日まで (2回)	